

No.5

領域：	パブリック、ビジネス		
テーマ：	エビデンスベースで考える不平等と格差		
担当者名：	上村 一樹		
開講時期：	前期：火曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	「格差」「貧困」「不平等」などのキーワードは、感情論で語られがちです。重要な問題だからこそ、感情だけではなく、統計や論理で考えてみましょう。		
到達目標：	「格差」「貧困」「不平等」などを事実や根拠に基づいて考えられるようになること。 自分なり・自分たちなりの解決策を考えられるようになること。		
講義方法：	教員の講義、皆さんの発表、Excel を使った簡単な実習などで構成されています。パソコンは頻繁に使うので、必ず持ってきてください。		
準備学習：	グループ研究の準備、配付資料の予習、Excel の復習など		
成績評価：	グループ研究 (6 限)、ミニレポート (4 限)、ミニレポートのまとめ (5 限)、統計分析の実習結果 (5 限) の総合評価		
欠席基準：			
講義構成：	プロジェクトの 3 コマを、90 分×3 ではなく、4 つのパートに分けて使います。また、偶数回と奇数回で内容が多少変わる予定です。／の左側は奇数回、右側は偶数回の内容です。 1. 教員からの講義 (講義資料の説明か、PJT テーマに関連した書籍の概要の説明) 2. 履修者各自が 1. の講義内容に関連したミニレポートを書く (奇数回) / エビデンスベースで考えるための統計分析方法の紹介 (偶数回) 3. 数名のグループで、ミニレポートの内容について発表・議論して、その結果をまとめる (偶数回) / 上記の統計分析方法の実習 (Excel を使用、偶数回) 4. 「格差」「貧困」「不平等」等に関するグループ研究 (一学期かけて完成させます。)		
履修条件：	テーマに関心があること、学習意欲があること、説明会に参加すること、無断欠席しないこと。		
推奨科目：	特にありませんが、経済学的な考え方は知っておいた方が良いでしょう。		
選考方法：	1. 完全抽選か、2. 何を学びたいかに関するレポート (数百字程度) で選ぶかのどちらかになると思いますが、まだ決定できていません。		
備考：	1. 構成は多少変更になる可能性があります。「教員からの講義による知識の提供」「Excel でデータを分析して、実情を確認する」「自分個人の考えを Word や PowerPoint でまとめる」「最終回 (付近) で自分たちなりの解決策を発表する」ということはやるつもりです。 2. 最終発表は、5F のオープンスペース、icommons、平生セミナーハウスなど、普段の教室以外のどこかで行う予定です。		
説明会：	実施します。ぜひ来てください。		